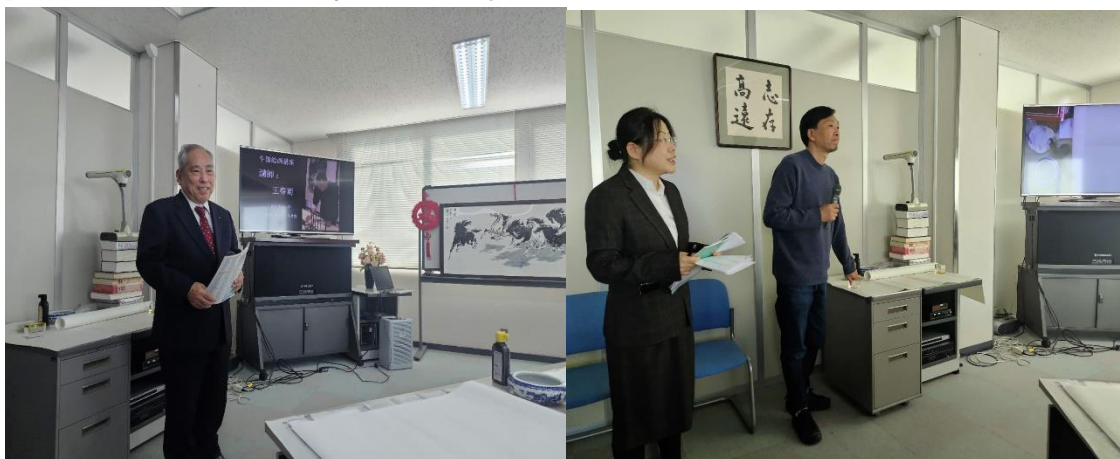


岡山商科大学孔子学院、中国絵画講座及び春節交流会を開催

2025年1月25日（土）、岡山商科大学孔子学院では中国絵画講座及び春節交流会を開催した。

まず、当日10時半から、中国芸術家協会会員である大連外国語大学国際芸術学院の准教授王春雨を迎え、本孔子学院で中国絵画講座を行った。講座は佐々木皓平孔子学院事務局長が司会を務めた。孔子学院理事長である岡山商科大学井尻昭夫学長は開会の挨拶をされた。



王春雨先生は中国特有の民族芸術形式——水墨画の中の、写意画を中心に、筆の持ち方、墨の使い方などの基礎知識から紹介し、水墨画の描く技法に重点をおいて説明し、竹・石・山・滝・樹の描き方を、実演を交えながら教えた。参加者たちも、孔子学院の用意した筆を手に取り、指導にしたがって、生箋の紙に自分なりの絵を描いていた。

王先生は時々教室を回って親切に皆さんの執筆を指導していた。中国水墨画の真髄は最も簡単な技法で複雑なものを描くことにあり、水墨画の描き方は難しくないが、たくさんの練習が必要だと言いつづけた。作画しているうちに参加者たちはみな中国水墨画の魅力を感じ取ったものだ。



中国絵画講座が終わった後、岡山商科大学孔子学院では引き続き春節交流会を行った。春節交流会では韓雲冬副学院長が司会を務め、黎曉妮学院長が開会の挨拶をした。



今回の春節交流会では、参加者の皆さんは中国の春節の伝統料理を食べたり、漢字のクイズゲームをしたりして、楽しく交流した。漢字のクイズゲームでは、それぞれ手元にある漢字の半分によって、残りの半分を探して、最後に一つの漢字を完成させる。漢字を完成したら、全員に前に出て、その漢字についての理解や新しい一年のビジョンについて話してもらった。それぞれのオリジナルな理解や連想は交流会の雰囲気盛り上がりさせた。最後に参加者全員で中国語で『恭喜恭喜』という春節を祝う歌を合唱した。



交流会の最後に、孟海霞副学院長より閉会の挨拶をした。孟副学院長は王春雨先生及び参加者の皆さんに感謝の意を述べるとともに、新しい一年は皆さんにとって収穫多き一年であるよう祈念した。また、各界のご支持とご協力のもとで、孔子学院は今後も怠らずに中国語教育と文化交流に引き続き取り込んでいきたいと述べた。



執筆：孟海霞・朱風

2025年1月27日